

名古屋工業大学 教員・学生



・コーディネータ連携による デフォガ



出典： 未来2019

名工大ベンチャー支援プロジェクトとは？

産学官金連携機構の全面バックアップのもと、名工大の研究シーズを事業化し、より研究を加速させるためのプロジェクトである。シードの事業アイデアを産学連携機構が企画し、研究室に対して伴走型で支援を行う。

「デフォガ」プロジェクトでは、産学官金連携機構 佐藤久美コーディネータがリーダーを務めており、生命・応用化学（ソフトマテリアル分野）石井大佑准教授、産学官金連携機構 野原かほりコーディネータ、石井研究室 桑田力真君、社会工学 徳丸研究室 倉田颯君の5名で、石井先生のフナムシの生体模倣技術を応用した「曇らない社会」の実現に向け、ベンチャー創出による事業化を進めている。

プロジェクト主力メンバー

佐藤 久美（プロジェクトリーダー）
名古屋工業大学 産学官金連携機構 コーディネータとして、主に技術移転にかかる名工大の知財マネジメントを担当している。また、前職のテック系ベンチャーの立ち上げ支援や民間企業 知財部に在籍していた経験を活かし、技術の事業化を推進すべく本プロジェクトを主導している。

野原 かほり

名古屋工業大学 産学官金連携機構 コーディネータとして、次世代アントレプレナー育成事業を担当している。学内シーズと意欲ある研究者・学生のマッチングやその事業化に向けた支援を行う。



ベンチャープロジェクト受賞



今回の受賞内容



2019.2.25 最終審査会

異業種連携による事業開発コンソーシアム・III（トリプルアイ）が主催するインキュベーション・アクセラレーションプログラム。スタートアップや既存企業のカーブアウト（事業分離）、これから起業する挑戦者をサポートし、あらゆる企業・投資家等をつなぎあわせることで、その成長とイノベーションを実現している。

部門別最優秀賞
革新素材・
エネルギー・
その他部門

三井化学
材料×情報による
価値創造賞

デフォガの事業内容について

フナムシの脚部構造を生体模倣し、対象物に加工することで、対象物の表面の水を極めて「迅速」に「無動力」で移動させることができる技術がある。デフォガではこの技術を応用して、事業会社との共同開発による特許取得を軸に、水が創出する界面を未知の領域へ広げることを目指している。



フナムシの生体模倣技術について

本技術については、Youtube 名工大テクノロジーチャンネルにて紹介しています。是非ご覧ください！



名古屋工業大学 生命・応用化学 石井 大佑 准教授

東京工業大学 総合理工学研究科
物質科学創造専攻 博士（工学）修了
高分子学会、日本表面科学会所属
平成29年度 文部科学大臣表彰、他受賞歴多数



産学官金連携機構では、大学の技術による「より豊かな未来社会の実現」及び、学生・大学院生に対する「アントレプレナー教育」を目的とした研究シーズの実装化支援を実施しています。
こうした取り組みに対する奨学寄付金の受付を行っています。以下連絡先までお問い合わせください。